**交付申請書・添付資料様式と**

**記入にあたっての注意**

記入にあたっての例示や注意は赤字で記入していますので、書類作成時には、修正・削除してください。

赤文字・斜体は黒字・標準体に変更してください。

様式第１　（第６項（１）関係）

令和　　年　　月　　日

国立研究開発法人情報通信研究機構　理事長　殿

住所　〒

氏名（団体の場合には、団体名及び代表者氏名）

（電話番号　　　　－　　　　－　　　　）

生放送字幕番組普及促進助成金交付申請書

生放送字幕番組普及促進助成金交付要綱（以下「助成金交付要綱」という。）第６項（１）の規定に基づき、下記のとおり助成金の交付を申請します。申請に当たり、法令及び助成金交付要綱の規定に違反する行為を行わないことを確約します。

記

１　助成対象事業の概要

　　（例）ＡＩ自動音声認識機能搭載生放送字幕制作システムを整備する

２　助成対象事業に要する経費の額及び助成対象経費の額（その内訳及び算出基礎を含む。）

　　　助成対象事業に要する経費の額　ＸＸ，ＸＸＸ千円

　　　助成対象経費の額　　　　　　　ＸＸ，ＸＸＸ千円

　　　（内訳および算出基礎は添付資料３参照）

３　助成金交付申請額　　　　　　　　ＸＸ、ＸＸＸ千円

４　助成対象事業の開始及び完了予定日

　　開始予定日：令和Ｙ年Ｍ月Ｄ日、完了予定日：令和Ｙ年Ｍ月Ｄ日

添付資料

　１　申請者概要説明書（添付資料１）

　２　助成対象事業の内容等説明書（翌年度の字幕を付与して放送する予定の生放送番組名や付与時間の概算、翌年度から５年間の具体的な利用計画又は利用方針を含む）（添付資料２）

　３　助成対象経費積算表（添付資料３）

（添付資料１）

申請者概要説明書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主な事業内容 | *（現在営んでいる主たる事業について記載のこと。また、主たる事業内容を示す書類として、事業報告書等を添付のこと。）* | | |
| 財産及び損益  の状況  *（過去2年分の賃借対照表、損益計算書を添付のこと。）* | 区分 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 売上高（百万円） |  |  |
| 経常利益（百万円） |  |  |
| 当期純利益（百万円） |  |  |
| 純資産（百万円） |  |  |
| 総資産（百万円） |  |  |
| 自己資本比率（％） |  |  |
| 代表者の役職・  氏名 | *（代表者とは団体の代表者（法人であれば代表取締役等）のこと。）* | | |
| 本社等の所在地 | *（本社及び主な事業所等の所在地を記載のこと。）* | | |
| 機構連絡窓口 | 氏　名：  職　名：　　*（助成対象事業に係る窓口を担当する者の氏名）*  所　属：　　  連絡先　ｔｅｌ：  Ｅ－ｍａｉｌ： | | |
| 事業承継等の情報 | *（令和2年度以降、他の放送事業者との間で、事業承継、合併、分離等があった場合、承継等の元事業者名等の情報を記載のこと。ない場合には「なし」と記載。）* | | |
| その他の特記事項 |  | | |

（記入上の注意）全体を１～２頁で簡潔にまとめること。

（添付資料２）

助成対象事業の内容等説明書

１．助成対象事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の名称 |  |
| 事業の内容  及び実現方法 | *（助成対象となる事業の内容について具体的かつ詳細に記載のこと。助成対象機器以外にも、生放送字幕番組の普及実現に必要となるものがある場合は、それも併せて全体像が判るように記載すること。*  *また、本助成対象機器の整備により「新たに生放送番組への字幕付与を行う」、「生放送番組の字幕付与数増加や付与率等の向上を図る」等の、機器整備により達成される目的・効果についても記載すること。）*  *（具体例：*  *・助成対象となる事業の内容*  *・関連設備（マスター等）の整備計画の有無や実施予定時期*  *・本助成対象機器の整備により達成される目的・効果）* |
| 事業の対象 | *（助成対象機器を用いて翌年度に制作を予定している生放送字幕番組について具体的に記載すること。翌年度から５年間の利用計画又は利用方針を記載すること。）*  *（具体例：［翌年度］番組のタイトル、放送回数、放送日程、等。［2年目から5年目］予定する年間の利用計画本数、総放送時間、等。）* |
| 実施時期 | *（助成対象機器の導入予定時期について記載すること。）* |

２．助成対象機器等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成対象機器等の概要 | *（助成対象機器について、イラスト図（参考資料２－１）を用いて説明すること。型式等が判る場合は記載のこと。また、カタログやパンフレットがある場合には、可能な限りその写し等を添付のこと。）* | | |
| 字幕番組制作の経費低減効果が期待される先進的な技術の有無とその内容 | 有り・なし  *（有無を選択記載してください。*  *有の場合、その技術内容と効果について簡潔に記載してください）* | | |
| 生字幕放送番組の普及に資する機器の設備に必要な資金の総額 | 助成対象事業に要する経費の額 | 助成対象経費の額 | 経費の額に占める助成対象経費の比率 |
| 千円 | 千円 | ％ |

（参考資料２－１）

イラスト図

　生放送番組への字幕付与に係る機器に関する放送システムの装置やネットワーク構成等、全体像が分かるイメージ図等を、Ａ４判を用いて１頁以内で具体的に記載のこと。

　特に、助成対象機器のシステム内における位置づけを明確に記載すること。

（参考資料２－２）

翌年度から５年間の整備機器の利用計画又は利用方針

○申請者が字幕を付与した番組の生放送を行う一の放送事業者と異なる場合、当該放一の送事業者と合意の上、記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 一の放送事業者名 |  | 責任者役職・氏名 |  |

○翌年度から５年間の整備機器の具体的な利用計画又は利用方針

|  |
| --- |
| *（利用方針には、「対象機器の整備により字幕付与率を○○％向上させる」、「対象機器の整備により生放送の字幕付与番組数を○○本増加させる」 等の字幕付与率向上や番組本数増加等の効果を含めて具体的に記載すること。）* |

○翌年度の字幕付与予定の生放送番組

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生放送番組名 | 放送期間※ | 放送時間 | 備考（番組に字幕を付与して生放送する放送事業者名を明記） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  | 合計放送時間 |  |  |

※：具体的な放送日や放送期間（見込み）

（添付資料３）

助成対象経費積算表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品名（型式等） | 単価（円） | 数量 | 金額（円） | 用途 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合計（助成対象経費の額） | | |  |  |

［注１］助成対象機器の積算内容について記載のこと。

［注２］単価は、時価、実購入価格を基準とし、消費税は含めないこと。

［注３］用紙が足りない場合は別頁とすること。

［注４］用途欄は、簡潔かつ明瞭に記載のこと。

［注５］発注予定日が助成対象年度中であり、かつ、助成申請日以降であること。

検収予定日が助成対象期間中であること。